

乾式の床になり、掃除はほうきで掃いてから、一度水にぬらして絞ったスポンジモップを使っている。



学校トイレの
改修事例

03

石川県白山市

はくさん ほくしん
白山市立北辰中学校

学校側の要望にとことん耳を傾け
みんなが使いやすいトイレを実現

待ち望んだ改修で
すべてトイレ洋式化

白山市は、2005年2月に1市2町5村が合併し、誕生しました。石川県の中でも最大の面積となり、学校数も小学校19校、中学校9校と増えました。

古い校舎も多くあったことから、「子どもたちのために小中学校の施設に優先的に予算を使って教育環境を整えよう」という気運が高まり、特に耐震補強の工事の済んでいない学校から、順次改修を進めてきました。

校区内の小学校は改修や建て替えが進む中、1984年に建てられた北辰中学校は耐震性が担保されており、30年以上大きな改修がありませんでした。そのため、トイレも当時のままでした。洋式便器は、各フロアに男子用、女子用が各一つのみで、他は和式。「本校がある地域は、新しい住宅地で、ほとんどの家庭の便器は洋式。生徒たちにとって、和式のトイレはかなり使いづらかったと思います」(久司由利子校長)

加えて、床は湿式のタイル。いくら掃除をしてもにおいが取れない状態で、行く気にならないトイレでした。そのため、生徒からも職員からも、洋式化を望む声が多く上がっていました。

改修の順番が来て、2016年末の国の補正予算で補助金が内定し、ようやくトイレを含めた大規模改修に着手できました。トイレの改修については、床を湿式から乾式にし、壁は明るい色に。和式便器をすべて洋式にする方針で進めました。

「議論を進める中で、和式も残そうという声も上がりました。和式になじんだ世代の大人は、和式があったほうがいいという思い込みがあるのです」(同市教育委員会 伊藤智さん)

しかし、以前、他の中学校の改修で、「和式を使う人がいるかもしれないから、あったほうがいい」という声があり、和式を1カ所残したケースがありました。ところが結果として誰も使わないという事態になってしまったそうです。「学校側も全洋式化を望んでい



白山市の小中学校の改修では標準で温水洗浄便座を採用。生徒たちが乗ることのないようにフタのないタイプを選択した。



洗面器はカウンターに半埋め込みのため、深さもあり、ゆったり洗える。



ブースの間仕切りはいたずら防止のため天井まで立ち上げた。



各トイレに掃除の仕方を写真付きで細かく指示した張り紙を貼り、フロア掃除は「絶対に水を流さない」など重要ポイントを赤字で明記。



洗面器まわりは掃除のあと、必ずから拭きをして水気を取る。水気を残しておくと、そのまま乾き、汚れとなったり、菌の繁殖の原因に。



男子トイレ入り口。小学校のトイレはカラフルな色づかいが多いが、中学校らしくすっきりとしたデザイン。



清掃時、便座は霧吹きタイプの除菌剤をふきかけてティッシュで拭き取っている。



便器は詰まったときにメンテナンスがしやすいよう掃除口付き。操作は押すたびに発電し、その電力でリモコンが作動するタイプを採用。電気工事が不要に。



洗面コーナー。自動水栓タイプで非接触。



女子トイレ。ブースのドア上は、採光や換気の観点から、仕切りを設けずに。

今回、トイレの器具や工事に使う資材は、メンテナンス性や使い勝手の良さ、安全性の高さを重視しました。例えば、大便器は掃除のしやすい掃除口付きに、便座は生徒たちが家庭でも使い慣れている温水洗浄便座にしました。

「重視したのは施工性です。施工性の高い器具は、場合によっては、商品自体の価格は高いかもしれませんが、施工しやすいと、よりよい品質になり、またメンテナ

施工性を重視すると結果的に経済的になる

「生徒の教育環境を整えるには、先生方の職場環境も整える必要があると考えて、自分たちが使う立場になって、よりよいトイレを追求していきましました」(教育委員会 伊藤さん)

「学校の要望をよく聞いていただきました。おかげで本来に使いやすいトイレになり、生徒も職員も本当に感謝しています」(久司校長)

「学校側の要望をよく聞いていただきました。おかげで本来に使いやすいトイレになり、生徒も職員も本当に感謝しています」(久司校長)

「重視したのは施工性です。施工性の高い器具は、場合によっては、商品自体の価格は高いかもしれませんが、施工しやすいと、よりよい品質になり、またメンテナ

「どれだけ、前のトイレで、子どもたちがトイレに行きづらかったかがわかるんです」

行きやすくなった北辰中学校のトイレ。うれしそうに掃除をする生徒たちの姿が印象的でした。

トイレ改修をきっかけに清掃指導を徹底

乾式清掃に変わるので、先に改修した近隣の学校に清掃方法を聞いて研究し、新しく掃除用具を備品として購入したそうです。教職員で清掃方法を指示した張り紙を作成。「最初が肝心」。

久司校長が何より喜んでるのは、トイレトペーパーの減りが以前よりかなり多いこと。

「でも、夏休み期間という限られた時間の中で、取り壊しから、工事完了検査まで終わらせるのは、施工業者にとってかなりの負担。設計者や施工業者の意見にも耳を傾けながら、施工性の高い器具や資材を選ぶことで、学校に迷惑をかけないように予定の工期内で工事を終えることができたそうです。」



職員用トイレ。教室への移動中に使用することも多いため、教科書や名簿などが置けるように書類立てを設置。



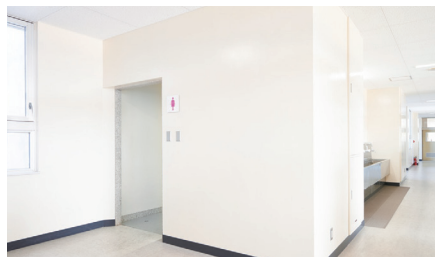
①女子職員用のトイレのブースの空きスペースを利用してフィッティングボードを設置。ストックの履き替えなどに利用されている。②職員用洗面台の自動水栓は、手洗いのあと、自動で除菌成分(次亜塩素酸)を含む水が流れるタイプを採用。排水口のされいが長持ち。③職員用洗面カウンターは2段にして、ハンカチや化粧小物が置けるように。



保健室にはシャワーと手洗いを設置。



2階女子トイレ。ブースはすべて内開きに。使っていないトイレがすぐわかる。床は、メンテナンスを重視し、防汚&ノンワックスタイプのグレー色を選定。壁は明るくなるようホワイト系に。



2階女子トイレの入り口。人通りのある廊下から一段奥まっているので、安心して出入りできる。



洗面器の清掃は軽くスポンジで洗い流して。



左から北辰中学校の久司由利子校長、白山市教育委員会教育総務課の伊藤智さん、白山市建設部営繕課の荒瀬雅之さん。



掃除用流しは、バケツの出し入れがしやすいように浅めのマルチシンクに。水栓は、操作しやすいようレバー式にした。

DATA

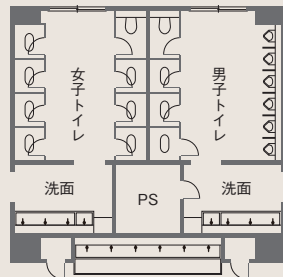
- 名称：石川県白山市立北辰中学校
- 所在地：石川県白山市日向町24番地2
- 生徒数：425名(2018年4月)
- 施工主：白山市
- 設計：北国コンサルタント
- 施工：荒木・ホクレイJV(給排水衛生設備)
- 竣工年月：2017年9月(改修)



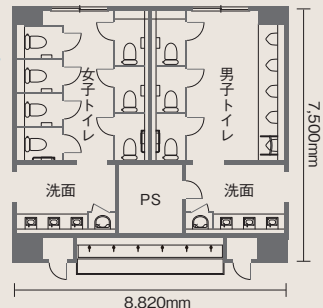
2Fトイレ



改修前



改修後



完全洋式化はもちろん、全個室に温水洗浄便座を備えた北辰中学校のトイレ。配管材料にまで施工性を重視した器具や資材の選定を行い、工期短縮を実現した。